

## 2022 年度勤労者支援職域管理栄養士・栄養士 育成のための全国リーダー研修会報告

開催日：2022年12月11日（土）

会 場：Web開催（Zoom）

参加者41名（推進委員：國分・佐藤・今川・  
松本・水野・小川含）

来賓：常務理事 阿部絹子様

職域統轄事業部部長 原 純也様

職域統括事業部副部長 元家玲子様

事務局：辻田

アットビジネスセンター：浅野

総合司会進行：松本委員

開始挨拶：勤労者支援・國分委員長

昨年度より多くの方にご参加いただきありがとうございます。勤労者支援には多くの職種の方が登録していただいています。昨年から各領域に分け、領域ごとに活動計画を作成して参りました。今回はグループワークで領域に分かれますので皆様のご意見をいただきたいと思いません。

来賓挨拶：原職域統轄事業部部長

日本栄養士会では担当職域だけでなく、他職域の動向についても理解を深めようと活動を始めています。

※ネット環境不安定により退席

**2022年度事業執行報告及び2023年事業計画等  
について**

・勤労者支援協議会のあゆみについて

平成9年までは産業部会として、企業の中で給食を提供している方が中心の部会であった。

平成10年より「全国集団健康管理栄養士協議会」と名称が変更され、矯正施設、自衛隊（防衛施設）も含まれた部会となった。平成24年より「勤労者支援協議会」として現在に至っている。

ここ数年の日本栄養士会の動きとして、2021年オリンピック・パラリンピックの開催では、アスリートの栄養管理と給食会社の食事提供の流れが、双方の力で成功させる事ができた。ま

た、「東京栄養サミット2021」（東京国際フォーラム）でも日本栄養士会のイベントとして「トップアスリートへのスポーツ栄養管理」について、「学校給食」についてが世界に向け発信された。また企業として給食会社の社長から給食の歴史について発表する場もあった。

2008年から始まった「特定健診・特定保健指導」についても令和6年の第4期の改訂に伴う検討会やワーキングがまさに進められており、さまざま企業の動きも始まっている。

2022年の事業報告：

添付資料の内容のとおり Web 会議を開催しました。また標記されていませんが、VCSを活用して各領域の計画立案を行ってきた。2023年度も記載の計画で進めている。

**全国矯正栄養士研修会について：松本委員**

2023年1月20日（金）Web 会議にて開催及び開催内容にて報告があった。給食に関わる2題の講演と矯正施設給食2事例の紹介を予定している。

**生涯教育委員会からのお願い：小川委員**

生涯教育実務者研修の作成が3年前より作成できていないので、取り上げてほしい内容がありましたらグループワーク内で意見を上げていただきたい。

**日本栄養学雑誌及びホームページ委員会より：  
水野委員**

日本栄養学雑誌の執筆者について、グループワークで今後の執筆候補を上げていただきたい。

ホームページには、様々な特集・情報が掲載されている。今後の特集ラインナップとして「キャリアノート・キャリアシートの活用について」「給食ソフトの比較座談会」などを予定している。興味を持ってみてもらいたいので予定

されているものを事前にお知らせした。これから取り上げてほしい内容等ありましたら情報提供をいただきたい。

### 勤労者支援3領域からの概要・事業目標

- ・食事提供領域：小川委員  
領域リーダー：東京都の柴北さん  
サブリーダー：鹿児島県の正徳さん  
事業計画：1. この領域のネットワークの構築です。グループワークで情報提供のためにツール使用の了解をお聞きしたい。生涯教育研修を活用した教育研修を作成して取組む。  
2. スマートミールの外食・中食・給食への普及。  
3. 関連団体や地域領域との連携  
(→) 現在のところは情報提供を予定。
- ・製造流通領域：水野委員  
領域リーダー：石川県の下村さん  
サブリーダー：岐阜県の鷺見さん  
開催月は偶数月で開催しています。  
事業計画：1. ネットワークの構築  
ネットワークを作り始め交流会も検討  
2. 認定ケアステーション参画促進・・・2022年は勉強会に参加  
2023年度の全国栄養士大会で「認定ケアステーション」をテーマに打診していきたいと考えている。
- ・健康情報領域：今川委員・田村さん  
領域リーダー：熊本の森川さん  
サブリーダー：埼玉の田村さん  
事業計画：1. 特定保健指導担当者管理栄養士の認知制度の周知及び掘り起こし。  
2. 保健指導担当者の指導のためのサロンの開催運営  
・・・1人職場などで頑張る管理栄養士・栄養士の情報

交流ができる場を作る。

グループワーク 4領域に分かれて実施

・食事提供領域・製造流通領域・健康情報領域・自衛隊矯正の4グループに分かれてグループ討議を行った。(書記記録参照)

講義：「トクホ」とは？

「保健機能食品制度とトクホの位置づけ」

公益社団法人日本健康・

栄養食品協会理事長 矢島鉄也

「トクホの概要と保健指導での活用」

公益社団法人日本健康・

栄養食品協会理事 福山勝実

### 閉会挨拶

佐藤副委員長：本日までご参加いただいた理事・職域統括事業部副部長の元家様より講評をいただいた。

元家職域統括事業部副部長：本日はお疲れ様でした。違う職域の研修会に参加させていただきました。様々な問題や課題を聞き、これからも他の職域ともつながり課題解決に尽力していきたいと思います。

佐藤副委員長：本日は32都道府県のリーダーの方に参加いただきました。國分理事から勤労者支援の歴史について、産業部会から始まり集団健康管理協議会、そして勤労者支援へ移り変わった経緯のお話がありました。グループワークでは「勤労者支援の活動が見えにくい」「会員もどこに入っていいのかわからない。」との声がありました。前回までのグループワークは地域別に分かれてのグループワークでしたが、今回は領域に分かれて話し合うことができ、少しずつ焦点があってきたのかなと思います。勤労者支援の活動を可視化することが会員増にも繋がると考えています。また、勤労者支援の活動を日本栄養士会の内部にも見える形を作り上げていかなければと考えています。さらに日本栄養士会の中で、勤労者支援職域も政策集団であることが求められています。これから勤労者支援も活動を強化して参りますので、ご協力をお願いいたします。

(文責 勤労者支援 松本 勲)